



2021.7

キャラ子
CATCH

VOL.96

西東京市図書館

スポーツから生まれた物語



いよいよこの夏、オリンピック・パラリンピック開催予定の東京。

スポーツをするのが好きな人も、「観る専」の人も、物語の中でスポーツの面白さや熱気を感じてみませんか？

『あと少し、もう少し』

瀬尾まいこ 著 新潮社

「中学校駅伝は、男子は六人で 18 キロ、女子は五人で 12 キロを走る。駅伝大会は、陸上部の夏季大会や秋季大会の何倍も盛り上がる、学校を挙げての一大行事なのだ。」

主人公の^{ますい}榎井は、陸上部の部長。中学校最後の駅伝大会となるこの年、それまでの神コーチの代わりに赴任してきたのは運動が全くできない美術教師でした。それだけでなく、人数の足りない陸上部は駅伝走者を集めなければならず、榎井は最悪なスタートを切ることになります。

1区・内気な元いじめられっ子^{したろ}設楽、2区・本当は力がある不良の大田、3区・お調子者のジロー、4区・プライドの高い渡部、5区・榎井を慕う後輩の俊介、そして6区は部長の榎井。

この本は、走者一人一人の隠れた思いが丁寧に書かれており、勝ち負けだけでは終わらないスポーツの魅力がたくさん込められています。六人が繋いだ^{たすき}襷を、みなさんも受け取ってみませんか。

『アスリーツ』

あさのあつこ 著 中央公論新社

「すかっとぶち抜くんやで、結城^{ゆうき}さん。標的も他の選手も、ぶち抜いてな。すかっ、すかっやで」

この台詞を見て、何の競技の本かすぐにわかる人は少ないのではないのでしょうか？実は、この本に出てくるのは、オリンピック競技であるのにも関わらずとてもマイナーな競技、「射撃」です。なんだか射撃って、別世界感があるし、知らないことが多いし、少しとっつきにくいと思うかもしれません。

この本の題名は「アスリーツ」。一人の「アスリート」の話ではなく、沙^さ耶^や、花^{はな}奈^な、紅^く実^み子^こ、美^み優^ゆ、伊藤真帆、亜美たちアスリーツの物語なのです。

マイナーな競技だからこそ、きっと発見がたくさんある。あなたもぜひ、手にとってみてください。

『ノーサイド・ゲーム』

池井戸潤 著 ダイヤモンド社

みなさんは2年前のラグビーワールドカップのことを覚えているのでしょうか？この小説は、W杯の直前に放送されて話題になったドラマの原作です。

さて、タイトルにもなっている「ノーサイド」という言葉は、激しい試合も、終了の笛が吹かれてしまえば敵も味方もなくなる、という日本ラグビーで大切にされている精神のことです。しかし、崇

高な精神だけでは成り立たないのが社会人スポーツの現状だったのです。

大手自動車メーカーのエリート社員だった^{きみしほはや と}君嶋隼人は、左遷先で会社のラグビー部アストロズのゼネラルマネージャーを務めさせられることになります。ラグビーに関してまったくのシロウトである君嶋は、成績が振るわず、多額の赤字を抱えるチームを、なんとか再建できないか挑んでいくことになります。

様々な試行錯誤によってチームが変わっていき、試合を勝ち進んでいく様子は、実際に試合を見て応援しているかのように手に汗握るものです。スポーツ観戦もなかなか難しい状況ですが、ぜひこの本を読んで試合の臨場感などを味わってみてはいかがでしょうか。

『星くずクライミング』

樫崎茜 著 くもん出版

皆さんはスポーツクライミングを知っていますか？東京オリンピックで実施が決まった、ホールドと呼ばれる突起物を掴んで壁を登っていく競技です。最近注目されつつあるので知っている方も多いと思います。では、ブラインドクライミングはどうでしょう？知らないという人の方が多いと思います。この本の主人公であるあかりもその一人でした。

あかりは3年前からクライミングをするためにジムに通い続けていましたが、お正月明けに行われた大会で怪我をしたことをきっかけにクライミングから離れていました。年間パスポートの払い戻しをしにジムへ行ったとき、あかりはパラクライマーの啓蒙ポスター

を見かけます。それをきっかけにパラクライマーとの交流型イベントに参加したあかりは、視覚に頼らないでクライミングをする「ブラインドクライミング」に出会います。最初はそんなことは不可能だと思っていたあかりですが、ナビゲーターの「HKK」を頼りに完登しているところを見たことでブラインドクライミングに興味を持ちます。同い年のブラインドクライマー、^{すばる} 昴と二人で時には喧嘩もしながら、ブラインドクライミングで世界一を目指して練習に励みます。

私はクライミングをやったこともなく、ブラインドクライミングという競技が存在することも知りませんでした。また、クライミングが危ない競技だとも思っていました。しかし、昴と同じように視覚に障害がある森井さんは「クライミングウォールの上は車も走らないし、自転車も走らない。通行人にぶつかる心配も、障害物につまずいて転ぶ心配もない。そのうえ命綱まであるなんて、すごく安全なスポーツだと思いませんか？」と言いました。私たち^{せいがんしゃ} 晴眼者からしたら「高くてこわい」「落ちたら危ない」そのような考えが浮かびますが、彼らからしたら自転車や車の方が危険なのです。また、視覚に障害がある人やブラインドクライミングの現状を学び、私自身パラスポーツに興味がわきました。

パラスポーツに興味がある人も、ない人も、オリンピック・パラリンピックが開催されるこの年に、ぜひ読んでみてください。自分の中に新しい考えが生まれると思います。

『柔道の父、体育の父 嘉納治五郎』

近藤隆夫 著 汐文社

皆さんは嘉納治五郎^{かのうじ ごろう}という人物についてどれくらい知っていますか？学校で「柔道の創始者」として習っている人もいれば、少し踏み込んでオリンピックの運営組織である IOC の一員だったという知識を持っている人もいるかもしれません。今回紹介するこの本は、そんな嘉納治五郎の生涯を書いたものとなっています。

この本は、彼がどのようなきっかけで柔術と出会い、どのような経過を経てそれを「柔道」へと変化させたのかを書く前半と、ヨーロッパ視察で西洋のスポーツ教育を目にした彼が日本にてスポーツ文化の広まりにいかに尽力したのかを書く後半で構成されています。また、多くのエピソードや写真などを交えて書かれていることに加えて、文字が比較的大きいため、「本を読むのは苦手」という人にも読みやすい一冊となっています。

日本で行われる2度目のオリンピックを迎えるにあたって、日本人のスポーツへの親しみの礎を築いた人物である嘉納治五郎の生涯に思いを馳せてみませんか？



『博士の愛した数式』

小川洋子 著 新潮社

皆さんは、「野球」好きですか？

実は私はそうではありません。しかし、この本に書かれた見方をすると「あれ、面白いかも」と、一瞬だけ思うことができました。

この本の主人公「私」は、家政婦として数学者の「博士」の家に派遣されることになりました。雇い主の博士は、交通事故のせいで80分しか記憶がもたない人でした。この本は、「私」とその息子ルート(博士がつけたあだ名)と博士の温かい交流を描いた物語です。

さて、博士は野球チームの「阪神タイガース」の「江夏^{えなつゆたか}豊」という選手のファンなのですが、記憶が80分しか持たない博士は、江夏がもう選手ではないことを知りません。数学しかしていない博士は、野球が数学的に表せる実に面白いスポーツであると言っています。

「私」とルートと博士にとって、「野球」「阪神タイガース」「江夏豊」は大きな意味を持ち、この物語の中で大切な役割を果たしています。

こんな時代だからこそ、「私」と博士の心温まるおはなしを読んでみるのはいかがでしょう。

共同編集者のつぶやき

～編集後記に代えて～

4月から新しいメンバーが加わり、共同編集者は過去最高の人数になりました。中には、高校受験・大学受験に挑むメンバーも！この一年もご愛読よろしくお願いします♪

- ①ペンネーム
- ②自分に似ている物語の登場人物
- ③この1年の抱負

- ①ひまわり
- ②『ノントン』（『ノントン』シリーズ キヨノサチコ／作 偕成社）良いところも悪いところも持ち合わせて魅力的と捉えておきます。
- ③18年分の勉強を凝縮して頑張る

- ①なぎ
- ②『おたずねもの姉妹の探偵修行』（M.E.ラフ／著 学研教育出版）のソフィー
- ③CDをたくさん買う！

- ①あさぎ
- ②森原めい（『エトワール！』梅田みか／作 講談社）私もこの子と同じようにバレエを習っていたので、読んでいるとき共感できることが多かったです。
- ③去年できなかった学生らしいことをたくさんしたいです！

- ①きのこ
- ②『夜のピクニック』（恩田陸／著 新潮社）の甲田貴子
- ③これ以上コロナに自由を奪われないこと！！

- ①アオイ
- ②特になし
- ③去年よく読んでいた歴史系の本以外にもSFとかファンタジーとか色々なジャンルを読みたいです。

- ①たまき
- ②『赤毛のアン』（L.M.モンゴメリ／作 講談社など）よりアン・シャーリー。空想好きで、よくしゃべるところが似ていると感じます！
- ③CATCHの編集に携わることができて嬉しいです。一年間、よろしくお願いします！

- ①しい
- ②『ブルーとオレンジ』（福田隆浩／著 講談社）の野上佐緒里（陰口にうんざりしているところ、オレンジが好きなど）
- ③何か新しい趣味を作りたい！

- ①りほ
- ②『赤毛のアン』（L.M.モンゴメリ／作 講談社など）よりアン・シャーリー。空想好きなどところが似ています（他は全く違います）。
- ③今年度は受験！勉強を頑張る！！

- ①しほ
- ②ちびまる子ちゃん（『ちびまる子ちゃん』さくらももこ／作 集英社）絵と漫画と昼寝とテレビとかが好きだから。
- ③高校受験に向けて、特に理科と数学の勉強を頑張る。